

2021年度 第3四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料、PCR診断キット用材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

第3四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2020年度	2021年度	前年同期比
売 上 高	29,626	31,107	+ 1,481
営 業 利 益	4,261	4,982	+ 721
経 常 利 益	4,435	5,307	+ 872
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,096	2,812	+ 715

為替レート

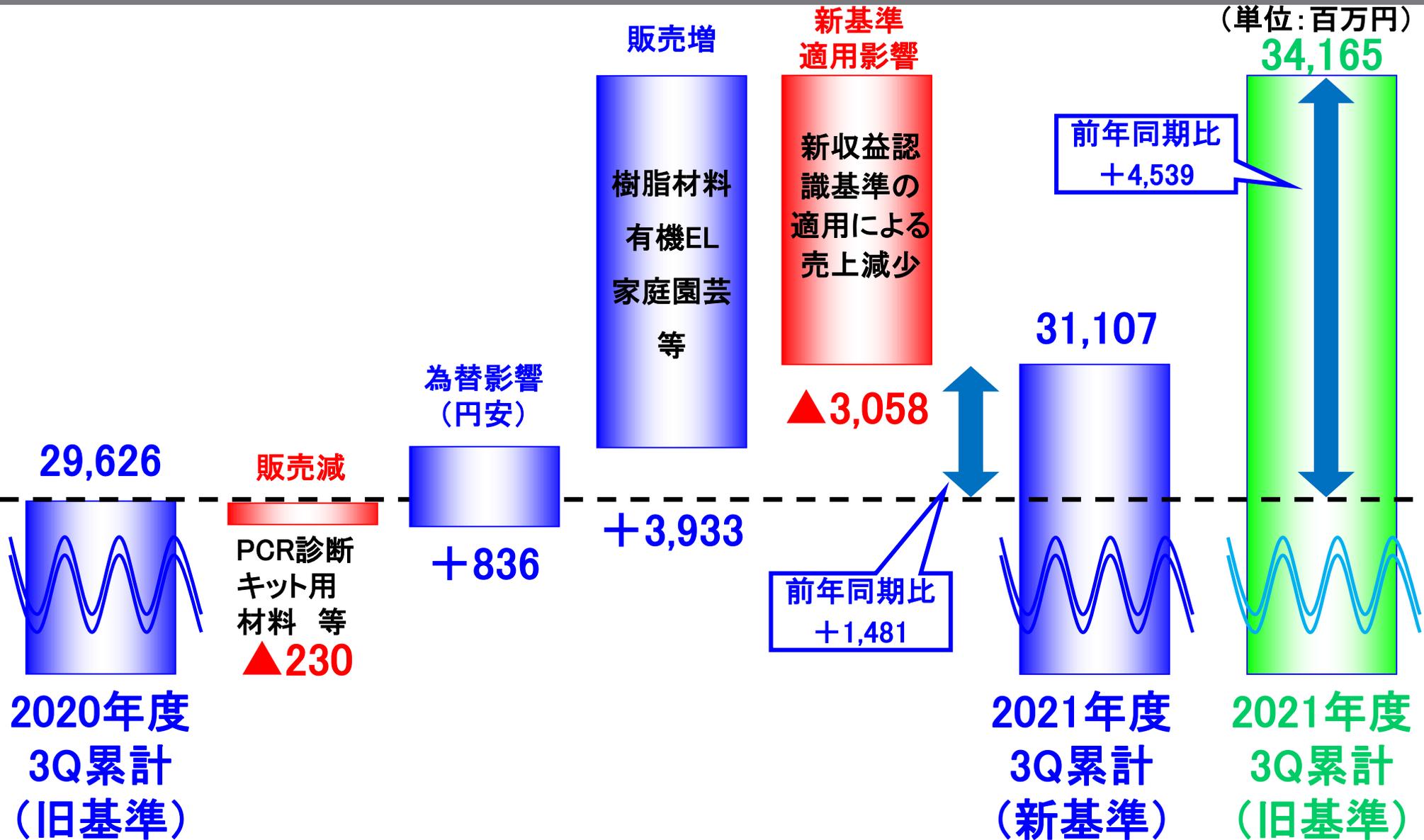
\$=105.55円
W=0.0905円

\$=111.47円
W=0.0966円

\$=ドル
W=韓国ウォン

- ・2022年3月期の期首より
「収益認識に関する会計基準」
(企業会計基準第29号)等を適用
 - 2021年3月期:適用なし
 - 2022年3月期:適用あり
- ※当該基準適用により、
当第3四半期連結累計期間の売上高は
3,058百万円減少し、
営業利益は57百万円増加し、
経常利益は62百万円増加しております。

(単位:百万円)



- ・**売上高**は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等の適用による減少があるものの、機能性色素、機能性樹脂、基礎化学品、物流関連の販売が増加し、1,481百万円の**増収**
- ・**営業利益**は、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の増加により、721百万円の**増益**
- ・**経常利益**は、営業利益の増加により、872百万円の**増益**
- ・**親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の増加により、715百万円の**増益**

(単位:億円)

科目	2021年 3月末	2021年 12月末	増 減
(流動資産)	300	331	+30
現預金	94	115	+21
売上債権	120	117	▲3
棚卸資産	83	93	+10
その他	3	5	+2
(固定資産)	325	322	▲2
有形・無形 固定資産	228	230	+1
投資有価証券	82	78	▲4
その他	13	14	+0
合計	626	654	+28

科目	2021年 3月末	2021年 12月末	増 減
(負債)	189	190	+0
仕入債務	41	51	+9
有利子負債	74	66	▲7
その他	73	72	▲0
(純資産)	436	464	+27
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	87	+0
利益剰余金	141	164	+23
その他	96	100	+4
合計	626	654	+28

財務指標

・自己資本比率	61.8%	⇒	61.9%
・D/Eレシオ	0.19倍	⇒	0.16倍

有利子負債	74億円	⇒	66億円
現預金	94億円	⇒	115億円

第3四半期累計

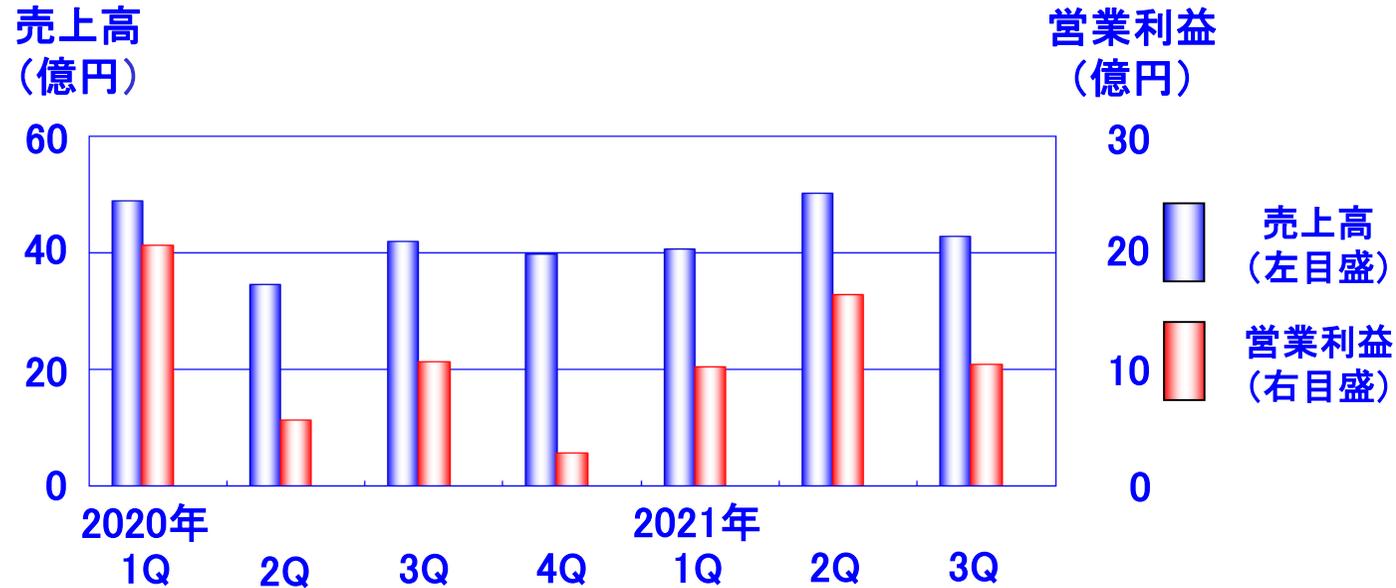
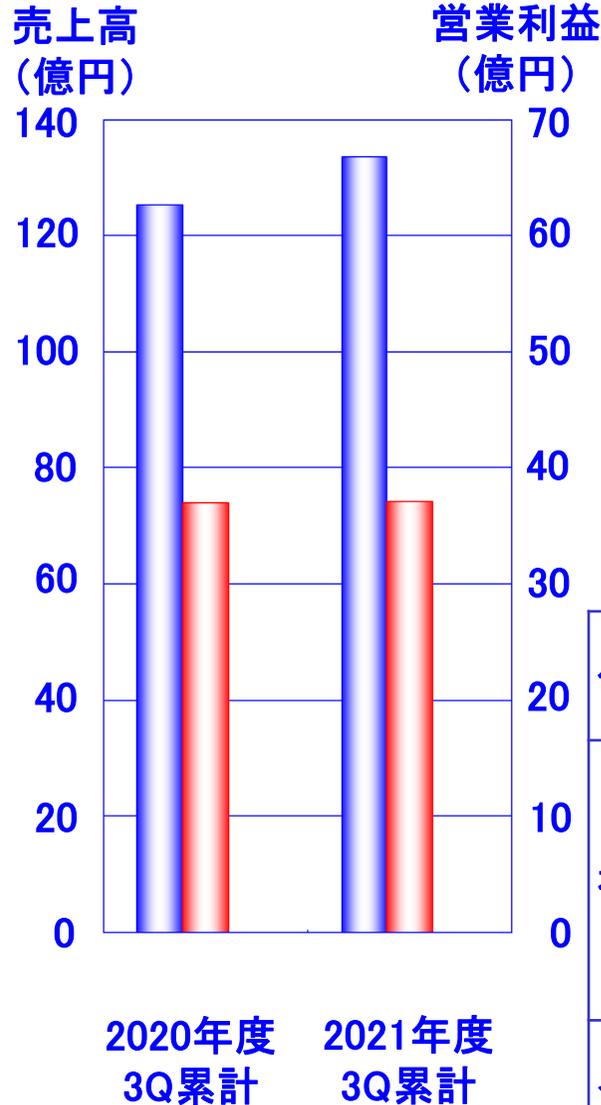
単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

セグメント	2020年度	2021年度	前年同期比
機 能 性 色 素	12,533	13,361	+ 827
機 能 性 樹 脂	7,574	8,364	+ 789
基 礎 化 学 品	5,148	5,151	+ 3
アグロサイエンス	2,933	2,785	▲ 148
物 流 関 連	1,319	1,321	+ 1
そ の 他	116	124	+ 7
合 計	29,626	31,107	+ 1,481

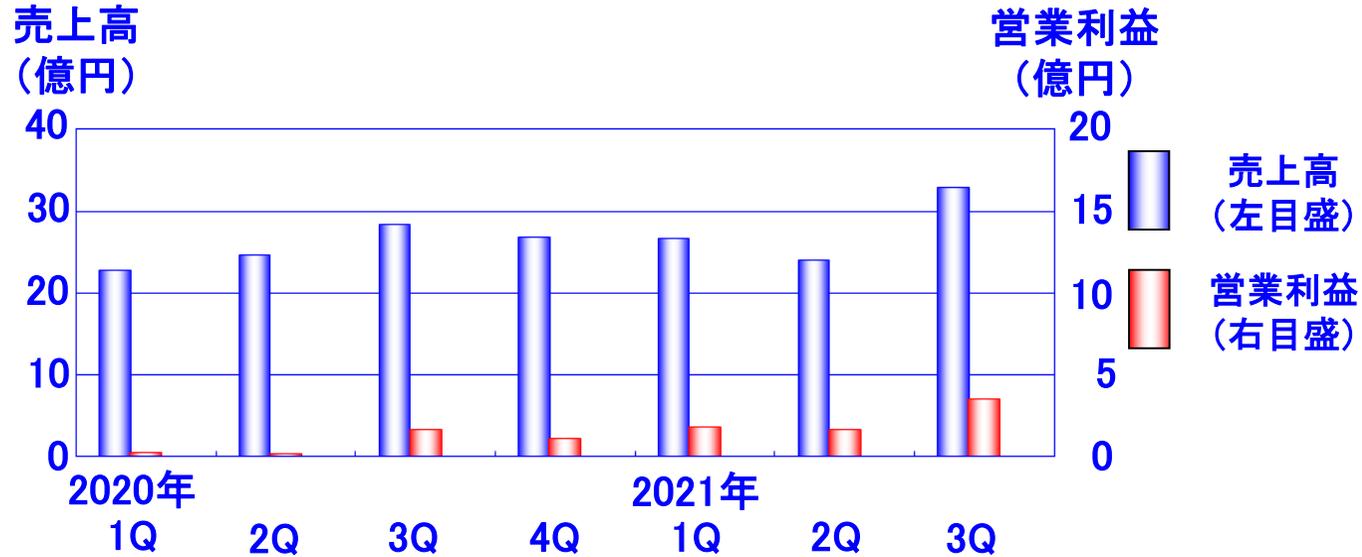
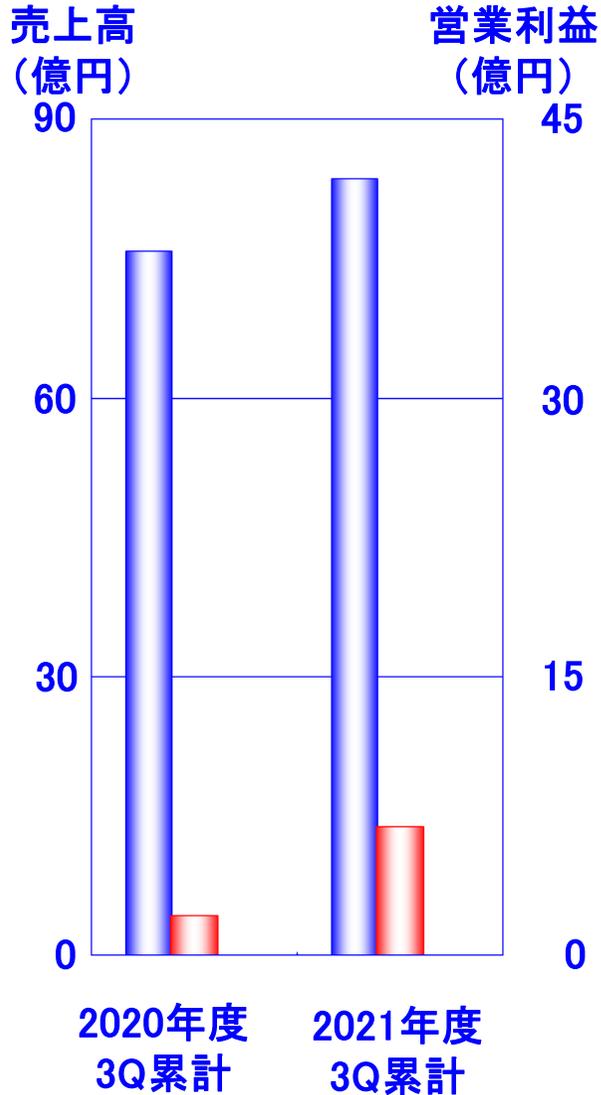
第3四半期累計

 単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

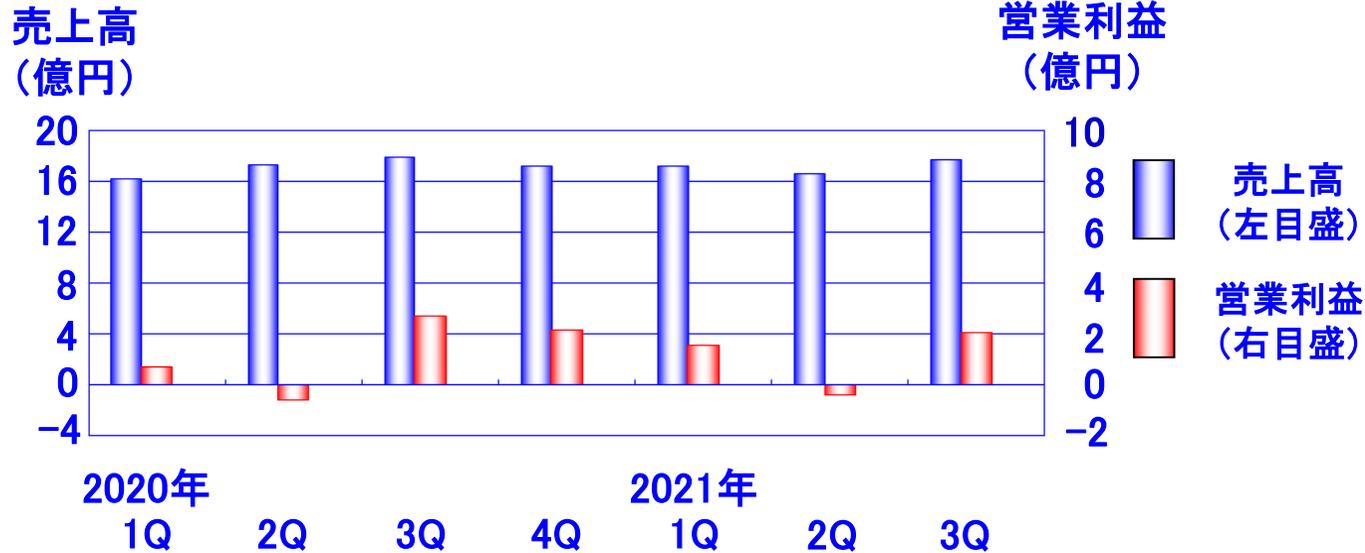
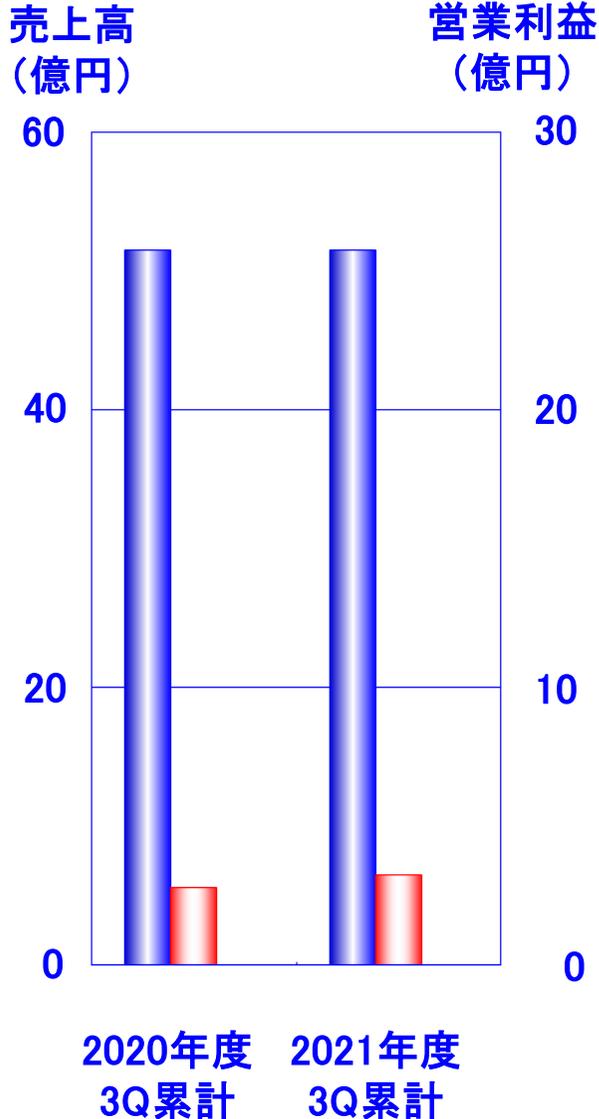
セグメント	2020年度	2021年度	前年同期比
機 能 性 色 素	3,703	3,706	+ 2
機 能 性 樹 脂	214	694	+ 479
基 礎 化 学 品	280	326	+ 46
アグロサイエンス	▲ 186	15	+ 201
物 流 関 連	233	221	▲ 12
そ の 他	13	18	+ 4
合 計	4,261	4,982	+ 721



色素材料	・アルミ着色用染料でスマートフォン向けの販売が堅調に推移したことにより、前年同期並み	➡
有機EL材料	・スマートフォン向けディスプレイ分野において、有機ELパネルの需要が引き続き増加したことに加え、当社の子会社におけるPCR診断キット用材料で、前年度第1四半期での特需は収まったが、安定して販売を継続できており、有機EL材料事業全体としては大幅な増収	➡
イメージング材料	・プリンター向け材料の需要が段階的に回復したことにより、大幅な増収	➡



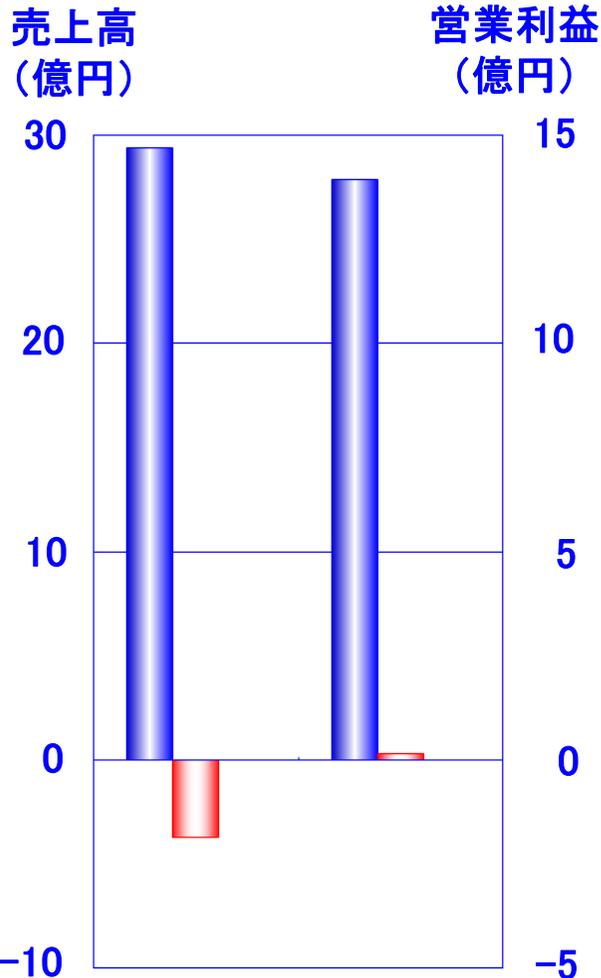
樹脂材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ウレタン原料は原材料の高騰に伴う値上げや、タイヤ用接着剤はコロナ禍からの需要回復等に伴い、大幅な増収 	↗
特殊化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬向け及び剥離剤向け等が好調に推移したことから、大幅な増収 	↗
建築材料	<ul style="list-style-type: none"> ・材料販売や防水工事向けで、前年度のコロナ禍からの需要回復等により、大幅な増収 	↗



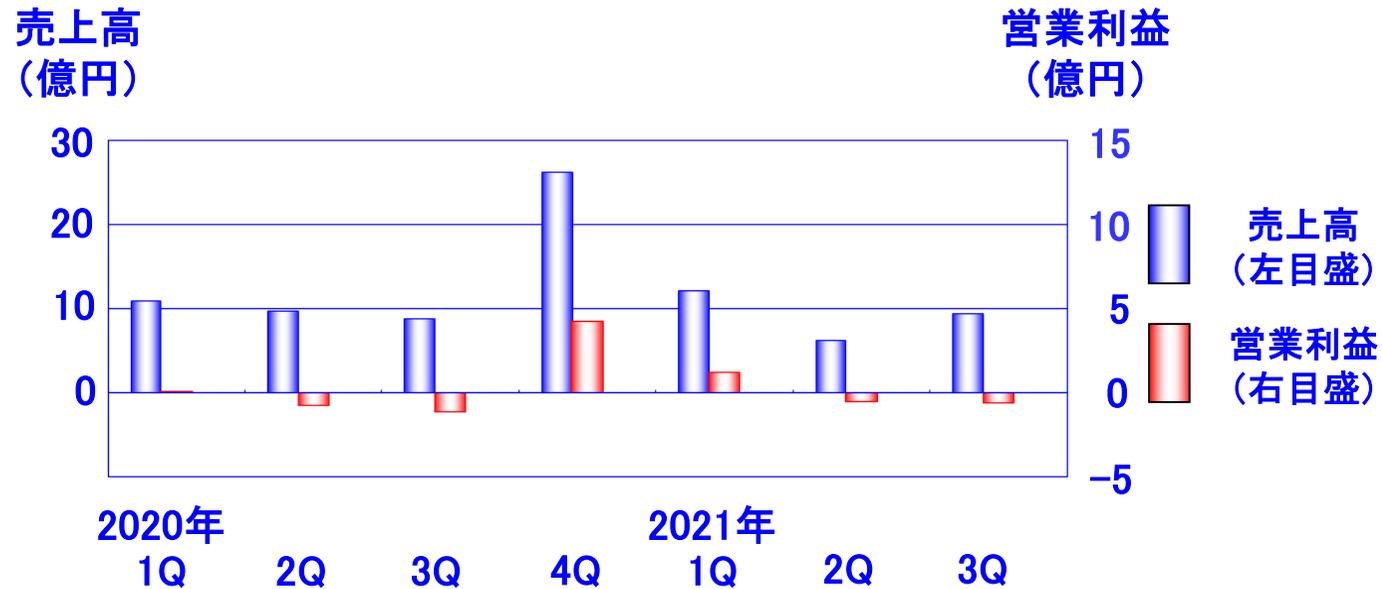
過酸化水素
及び
誘導品（※）

・過酸化水素誘導品は、飲料ボトル洗浄向けや内視鏡除菌向けがコロナ禍での需要減から回復したものの、衣料用漂白剤や家庭用洗浄剤向けで一部設備の制約による生産量の落ち込みにより、減収。
一方で、過酸化水素は、紙パルプ向け等の需要がコロナ禍から回復したことに加え、工業薬品向けで半導体市場を中心に需要が好調に推移したことから、大幅な増収

※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



2020年度 3Q累計 2021年度 3Q累計



アグロサイエンス

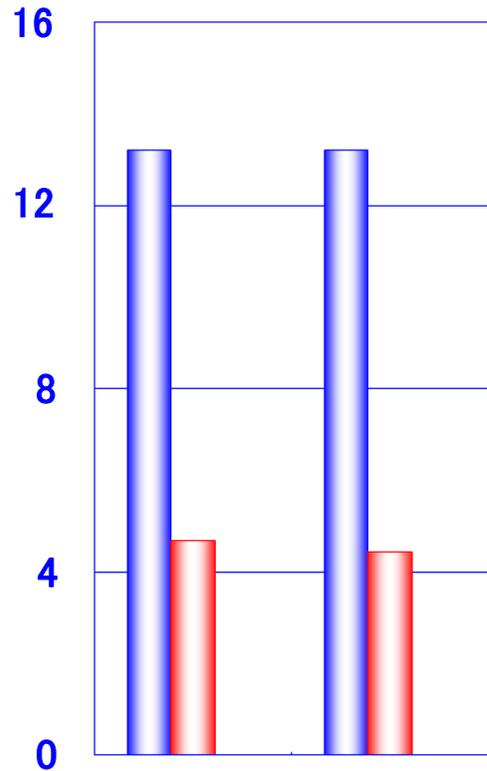
- ・家庭園芸向け除草剤の需要は引き続き拡大しており、増収となったが、顧客での在庫調整で販売が減少したゴルフ場向け除草剤等により、減収

売上高
(億円)

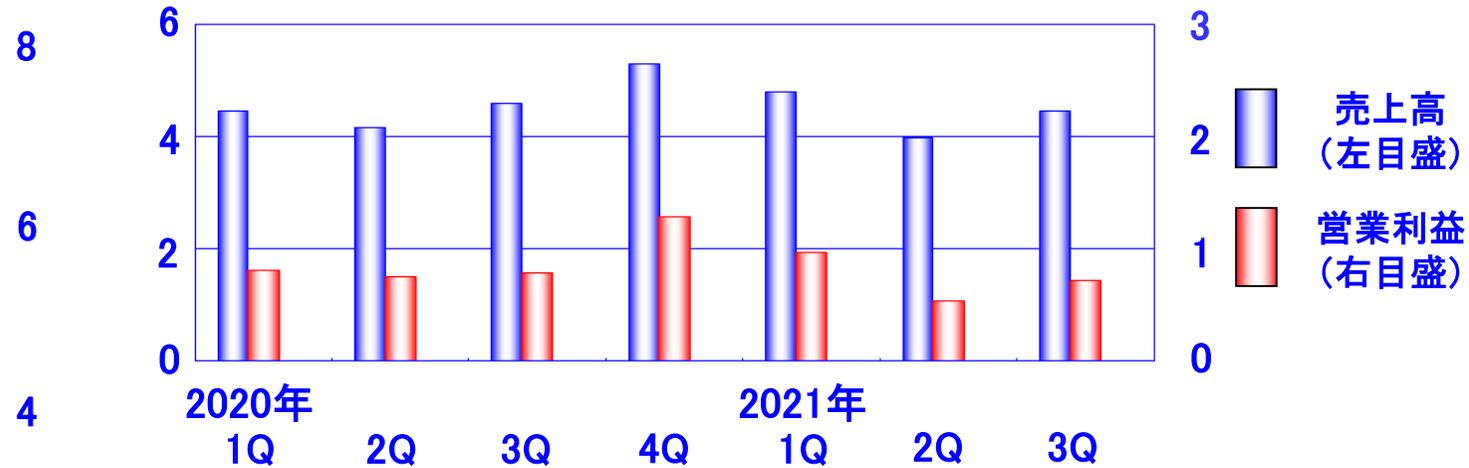
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2020年度 2021年度
3Q累計 3Q累計



物流関連 ・コロナ禍からの経済活動再開に伴い、輸出の取り扱い量が引き続き堅調に推移し、前年同期並み

